

救急看護の スペシャリストを目指して

救急看護認定看護師 山梨 綾子



私はもともと救急医療や災害医療に興味があり、2013年に日本DMAT（災害派遣医療チーム）の資格を取得し、日本DMATの隊員として活動していました。この度、2018年に救急看護認定看護師の資格を取得し、現在は主に救急外来で働いています。救急看護認定看護師は認定看護師制度の設立と共に生まれ、数ある認定看護師の中でも歴史のある分野です。

救急外来



救急外来では昼夜を問わず、救急車で来院される患者様や、急な症状のためご自身で受診される患者様の看護にあたっています。

患者様が受診されると、“トリアージ”といって、病状の緊急性などを即座に判断し、優先度が高い順に診察が始められるよう医師に報告します。医師の診察の介助や、処置を行うだけでなく、突然の病気やけがで心配している患者様やご家族の不安を取り除くようケアすることも重要な役割です。また、病院内で突然具合が悪くなった患者様の救命処置などの対応をすることもあります。

多職種連携 ・ チーム医療



救急外来では様々な職種の医療スタッフが関わっています。病院外では救急隊員など、病院内では医師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、医療事務員など、多くの職種の医療スタッフが協力し合わなくてはなりません。患者様、ご家族様の一番近くに寄り添う救急看護師として、多職種の間に入り連携をとり、患者様の診察がスムーズに行えるようチーム医療に努めています。

災害対策



日本DMATの資格も取得しており、県内外を問わず、実災害に備えての様々な訓練に参加しています。病院内の防災対策委員会にも所属しており、DMAT・救急看護認定看護師として、病院内外の災害訓練での調整役を担っています。



救急車専用入



救急外来を受診する患者様、ご家族様、関係者の方々の不安を少しでも和らげることができるよう、自分の持っている知識や技術を活かした救急看護を提供できるよう心がけていきたいと思っております。

